

紀要論文

- (1) 岩村樹憲, 上澤佳之, 片岡 貞, 徳山尚吾, 植田弘師: 6,14-Ethenomorphine 類の合成と腫瘍細胞増殖抑制作用.
[岐阜薬科大学紀要, **54**, 45-50 (2005)]
- (2) 正木幸雄: 不斉二級アルコール誘導体とジクロロカルベンの立体特異的C-H挿入反応を経る不斉四級炭素の構築.
[岐阜薬科大学紀要, **54**, 29-44 (2005)]
- (3) 川島嘉明: コンポジット化ナノ粒子薬物送達システムの設計.
[岐阜薬科大学紀要, **54**, 1-11 (2005)]
- (4) Shoun Hino: Bhakti and Nembutsu
[岐阜薬科大学基礎教育系紀要 **17**, 1-8 (2005)]
- (5) 武藤紀久, 桑原信治, 竹本康史, 鷺野嘉映, 西田弘之: 幼児の踵骨骨評価値と日常活動量および運動能力との関係.
[岐阜市立女子短期大学研究紀要, **54**, 41-47 (2005)]
- (6) 西田弘之, 鷺野嘉映, 杉浦春雄, 麻草 淳, 山本浩貴, 久世早苗: 男子高校生の右踵骨骨密度と日常活動量および運動能力との関係.
[岐阜薬科大学基礎教育系紀要, **17**, 35-51 (2005)]
- (7) 坂恒夫: 思考の枠組みとしての生物-不確実で非可逆な複雑系としての生物-
[岐阜薬科大学基礎教育系紀要, **17**, 9-34 (2005)]

総 説

- (1) Tadashi Kataoka and Hironori Kinoshita: Chalcogenide-Lewis Acid Mediated Tandem Michael Aldol Reaction - an Alternative to the Morita-Baylis-Hillman Reaction and a New Development.
[*Eur. J. Org. Chem.*, 45-58 (2005)]
- (2) 井川貴詞, 佐治木弘尚, 廣田耕作: パラジウム-フィブロイン触媒の創製と新規官能基選択的接触還元法の開発.
[有機合成化学協会誌, **63**, 1218-1231 (2005)]
- (3) 伊藤彰近: 光ハーベスト型メソポーラスシリカの創製-環境負荷低減型安息香酸合成プロセスへの展開-
[薬学研究所の進歩, **21**, 1-7 (2005)]
- (4) Masayuki Kuzuya*, Shin-ichi Kondo, and Yasushi Sasai: Recent Advances in Plasma Techniques for Biomedical and Drug Engineering.
[*Pure Appl. Chem.*, **77**, 667-682 (2005)]
- (5) 葛谷昌之: プラズマ表面処理による新しいドラッグデリバリーシステムの開発.
[表面技術, **56**, 642-648 (2005)]
- (6) 竹内洋文: ナノ粒子の消化管内での挙動と薬物送達への応用.
[*GI. Research*, **13**, 277-287 (2005)]
- (7) 竹内洋文: 最近の剤形開発の背景と今後の展望.
[*Medical Pharmacy*, **39**, 27-31 (2005)]
- (8) 羽賀新世: Possibility that AMF will serve as a target molecule for the diagnosis and treatment of a metastatic neoplasm.
[薬学雑誌, **125**, 169-175 (2005)]
- (9) 石倉周平: カルボニル還元酵素の生理的役割.
[生物工学会誌, **83**, 181-184 (2005)]
- (10) 稲垣直樹, 永井博式: 抗喘息薬のヒトマスト細胞活性化に及ぼす影響.
[*Molecular Medicine*, **42**, 1123-1131 (2005)]
- (11) 田中宏幸, 稲垣直樹, 永井博式: シックハウス症候群の動物モデルの作成.
[アレルギーの臨床, **25**, 563-567 (2005)]